

岐阜探訪しませんか？

鹿児島県立鹿屋高等技術専門校の篠原くんからご紹介を受けました、東海能開大の下畑です。篠原くんとは大学の同期で彼や同期の仲間とよく飲みに行っていました。大学卒業後はお互い離れているので会ってはいないのですが、メールや年賀状のやりとりをしてお付き合いを続けさせていただいています。そんな篠原くんからリレートークの依頼メールがきたときは驚きましたが、これも何かの縁なので書かせていただきました。

今回私は、現在勤務している東海能開大があります「岐阜」について書かせていただこうかと思います。さて、いきなりですが、このトークを読まれているあなたは「岐阜」と言われて何を思い浮かべますか？ 白川郷の合掌造り集落？ 下呂温泉？ 長良川の鵜飼い？ 関ヶ原の戦い？ 織田信長？ 斉藤道三？ 日本一暑い街多治見？ 養老の滝？ 富有柿？ 高山ラーメン？ 実は私、今年の4月にこちらに赴任したばかりなのですが、お恥ずかしい話、これまで「岐阜」という県について全く知りませんでした。白川郷の合掌造りははっきり富山県当たりだと思っていましたし、関ヶ原の戦いにしても愛知県の方だと思っていましたし……。自分の無知を露呈してしまいましたが、こちらに赴任してから少しずつですが岐阜県について知り、失礼ながら「岐阜って意外にいろいろあるんだ！」と思いました。このトークを読まれている方の中でも岐阜についてそんなに知らないという方もいらっしゃると思いますので、少しだけ紹介を。

「飛騨は山の国、美濃は川の国」という言葉があるのですが岐阜県は川が多く、特に木曾三川と呼ばれる木曾川、揖斐川、長良川は有名です。長良川といえば鵜飼いです。鵜飼いは鵜匠が鵜を使って鮎を獲る伝統的な漁法で約1,300年もの歴史があります。特に長良川の鵜匠は宮内庁から「式部職鵜匠」という職が与えられ、捕らえた鮎を皇室などに献上しているのだそうです。今年私も見に行ったのですが、ライトアップされる岐阜城のもと屋形船に乗って、鵜匠に従い鵜たちが一生懸命鮎を捕



っている姿を見つつ飲むビールも乙なものです。

そして忘れてはならないのが、世界遺産にも登録されている白川郷合掌造り集落です。合掌造り家屋の特徴は、急傾斜の茅葺屋根。これは屋根の雪かきを極力しないよう雪が積もらないようにするため、また、養蚕を行う場所確保のためだそうです。実際に中に入ってみると屋根裏部屋の上にさらに屋根裏部屋があるような造りになっていました。しかし、私が驚いたのは、世界遺産でもあり国の重要文化財に指定されている「和田家」を見学させていただいたのですが、この合掌造りの家で今なお普通に生活をされているということです。確かに元々住居ですから人が住んでいてもなにもおかしくないのですが、「世界遺産に住むというのはどんななんだろう。大変なんだろうなあ」と勝手に心配したものでした。

たいしてご紹介できなかったのですが、岐阜にはまだまだたくさん見所があります。私もまだまだ知らない岐阜がいっぱいあると思うのでこれからもいろいろと旅してみたいと思っています。皆さんもぜひとも岐阜にいらしてみたいはいかがでしょうか？

さて、今回のフリートークは、千葉県立船橋高等技術専門校の志村さんです。志村さんは大学時代の研究室の先輩で、卒業研究をはじめ、いろいろとお世話になった先輩です。それでは、よろしくお願いたします。